

JADCA 事務局から会員企業・関連団体の皆様に JADCA NEWS を配信いたします。

1. 2024 年 年頭にあたって



2024 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年 6 月の社員総会で理事が改選され、理事の互選により会長に選出されました。また、執行部も若手理事が中心の構成になり、活発な活動がなされております。微力ではございますが、業界の発展のため、会員企業の発展のため力を尽くして参りたいと思います。昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 2 類から 5 類になるなど、世の中全体がほぼ平常運転に戻った年でした。当然、経済活動も活発になり、日経平均株価もバブル後の高値を更新するなど、明るいニュースも聞かれました。

一方で、労働人口の減少による人手不足や人件費の値上がり、労働者の高齢化など、将来にわたって影響のある問題も多く残っています。

しかし、このような情勢の中であっても、本来やるべきことをしっかり続けていくことが大事だと考え、「空調設備を清浄にすることで、室内空気環境の向上に寄与する」という思いを忘れずに、協会運営に取り組んで参ります。

今年から来年にかけての中心となる施策は、会員増強・診断士増強活動です。会員数、診断士登録者数のどちらも、現在からの約 2 倍、会員企業 200 社と診断士登録者数 1,000 人を目指した活動に取り組みます。JADCA が影響力を持ち、市場を広げる活動を進めるためには、力を付けなければなりません。そのために、数を集めてそれを力に変えていきたいと考えています。

既存会員の皆様にとっては、同業の仲間が増えると同時にライバルが増えることとも言えます。確かにそういう面もありますが、非成長の時代に業として、企業として生き残っていくために必要なことは、目の前の争いではなく連帯だと考えています。たくさんの同業の仲間と連帯するからこそ、成し遂げられることもあると思っています。

具体的な施策は、理事会や社員総会での承認を得た上で進めて参りますが、これまでとはまったく違う新しいやり方で進めようと思っています。いろんなご意見がお待ちしておりますが、会員企業の皆様の思いを受け止めつつ、前を向いて進むためには何が必要かを考えて進めていきたいと思っています。

動きの速い現代社会で同じことばかりを続けていけば、いずれ尻すぼみになってしまいます。そうならないように、上記の増強運動以外にも新しいチャレンジを続けて参ります。

そして、前例のない新しいチャレンジは、「迷ったら Go!」の考え方で進めて参ります。何が正解か分からない新しいチャレンジは、やってみないと結果が分かりません。失敗を恐れることなく、若い力で前向きに業界の発展、会員企業の発展のために邁進して参ります。

本年もよろしく願いいたします。

2. 活動報告 2023年10月～12月

日時	内容	会場
10月20～21日(木金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
10月26～27日(木金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
10月12日(木)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
12月6日(水)	総務委員会	JADCA 新橋事務所
12月21日(木)	臨時理事会	JADCA 新橋事務所 ハイブリッド開催(ZOOM)
12月21日(木)	評価認定委員会	JADCA 新橋事務所

3. 活動予定 2024年1月～3月

日時	内容	会場
1月17日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	オンライン開催(ZOOM)
1月18～19日(木金)	第51回建築物環境衛生管理 全国大会 末光副会長発表	日本教育会館一ツ橋ホール
1月19日(金)	臨時社員総会	アートホテル日暮里 ラングウッド
2月13日(火)	評価認定委員会	JADCA 新橋事務所
2月15日(木)	2023年度 JADCA セミナー	ハイブリッド開催(ZOOM)
2月21日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)

4. 研修・講習のご案内

作業従事者向け

ダクト清掃作業従事者研修

第3号事業登録要件の一つに「年一回以上全作業員が研修を受けること」は、社内研修でもよいということになっておりますが、JADCAでは、本研修を受けたものが社内研修の講師となるべきとの観点から、JADCA認定の技術評価制度において、本研修の受講者が毎年いなければ減点対象としています。技術評価認定の会員企業はこの点もご留意下さい。

日程	内容	時間
1月17日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目コース	受付開始 9:00
2月21日(水)	ダクト清掃作業従事者研修 2回目以降コース	9:15~17:00

5. 支部活動のご報告



東関東・西関東支部合同ゴルフコンペ

KOSHIGAYA GOLF CLUB

2023年10月24日

秋晴れの中での気持ちの良い一日、プレー終了後にはバーベキューを堪能いたしました。優勝は(株)ジャパントーア檜森様でした。ご参加頂いた皆様有難うございました。



北陸東海支部ゴルフコンペ

多治見カントリークラブ

2023年10月11日

秋晴れの中での気持ちの良い一日ご参加頂いた皆様有難うございました。和気あいあいと楽しくプレーいたしました。優勝は(株)貢献野尻様でした。ご参加頂いた皆様有難うございました。

6. 支部長 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。北海道支部の今井です。
「コロナとの格闘」の終わりが見えてきた2023年。北海道でもコロナ以外の問題や変化に関心が移って来ました。観光客・地元民含め往来活発化によるビル保守の正常回復、海外供給網回復による工事案件の急激回復、集合住宅管理組合の会議の正常開催により決済遅延が解消された等は重要でした。また物件の価格交渉を比較的し易くなった一年でもありました。世の中の設備保守需要は増え続けており、アスベスト関連法改定対応含め、今年も方向を誤らず、世の需要変化に適応した活動をして行きたいと考えています。
北海道支部 支部長 今井昭彦



2024年、新年明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ禍が落ち着いたとはいえ、資材費や人件費、原油価格の高騰などが激しく、設備保守の予算がなかなか取れないお客様の声をお聞きしました。
ダクト清掃業界もなかなか思う様な好調とはならず、東北地方は特に厳しい状況が続いた年だったかと思います。
しかしながらピンチはチャンスと捉え、今年は積極的な支部会活動の中で情報交換を行いながら、互いに発展出来る支部会に出来たらと思っております。何卒ご協力賜ります様お願い申し上げます。
東北支部 支部長 大庭孝仁



皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年はコロナ過の影響も薄れ、徐々に日常が戻って来たように感じます。
JADCAでも久々の海外交流が行われるなど、国内・海外を問わず社会の動きも活発になっていることを実感します。
今年は支部会の皆様ともリアルでお会いして、JADCAの活動報告・情報交換等の意見交換をしながら業界発展を目指して頑張りたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。皆様にお会いすることを楽しみにして新年のご挨拶とさせていただきます。
東関東支部 支部長 末光眞二



新年おめでとうございます。
いろいろな事がコロナ禍前に戻ったお正月です。
JADCAは昨年6月の総会後の新体制で迎える初めての新年です。
コロナかをきっかけに、コミュニケーションの形が大きく変わりました。しかし、形は変わっても、ビジネスが人と人との営みという点では変わりはありません。支部の活動も、会員企業の交流の促進という視点を忘れずに進めて参ります。本年も引き続きよろしくお願いいたします。
西関東支部 支部長 清水晋



昨年の8月8日に、JADCAの皆様と長年親交を深めさせていただいた故山田幸司が永眠いたしました。生前は大変お世話になり誠にありがとうございました。

2023年の5月に支部会ならびに懇親会を開催し、支部長として故人が元気に支部員の皆様と談笑をしていたのがまだ昨日のように目に浮かびます。本人の遺志をしっかりと引継ぎ、JADCAの活動に少しでもお役立ていただけるよう邁進して参りますので、本年も何卒よろしく申し上げます。

北陸東海支部 支部長 山田晃也



JADCA会員の皆様、新年おめでとうございます。

2023年は、コロナ禍からの回復が進み社会が以前のように戻りつつある年になりました。しかしながら季節感のないインフルエンザの流行や、酷暑も含め急激な気候変動に対して「脱炭素社会」を早期に解決することが求められています。

海外ではロシア・ウクライナの侵攻も終結しないままイスラエルのガザ地上侵攻も勃発し、世界情勢は不安定な状況が続いています。

しかしながら昨年末には、大谷翔平選手の大型契約や、その他プロスポーツでの活躍ほか、日本人のパリオリンピックの出場権をかけた熱い熱戦に若い世代の活躍が楽しみな話もあります。2024年は働き方改革にも柔軟に対応し、皆様が健やかで楽しい生活を送れますよう祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

近畿中四国支部 支部長 木下浩之



新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍を経た昨年、社会のあらゆる業界が活発に動き出し、明るさがいろいろな場面で感じられました。

同時に対面で会うこと、話すことの大事さ、尊さを、より感じた様に思えます。

本年は辰年です、龍が天に昇るが如く、九州支部の活性化、発展はもとより業界全体の発展へ、西からの風を吹き込みたいものです。

本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

九州支部 支部長 佐々木良信



「天使の梯子(はしご)」を見たことがあるでしょうか？

私たちが見えるモノの限界は、0.1 mm (=100 μm) 程度とされています。これは毛髪の太さほどであり、バクテリアやウイルスなどはその 100 分の 1 や 10,000 分の 1 の大きさですので、到底肉眼では認識することができません。部屋に舞う塵なども同様に、私たちの身の回りには普段生活している中では気づかないほどの小さな塵埃（じんあい）にあふれています。

昨今のメディア・ニュースでは専ら PM2.5 といった微小物質が取り上げられていますが、大気中の塵埃による人体への健康影響を問題視するようになったのは近代に入ってからです。当初は雲や霧、スモッグなど気象環境の研究の一環として塵埃計測がなされていました。

一方で室内の塵埃管理、つまり「クリーンルーム」は第二次世界大戦時のマンハッタン計画が起こりです。原子力開発の過程に生成された放射性微粒子を除去するために HEPA フィルタが開発されました。軍事兵器に用いられる電気部品の不良率が高く、製造環境下の清浄度（浮遊塵埃の汚染度）に関連があると考えられたためでもあります。現在では HEPA フィルタよりも塵埃の捕集効率が高い ULPA フィルタも存在し、スーパークリーンな環境も多く見られるようになりました。クリーンルームの「空気清浄度の分類（クラス分け）」規格 ISO 14644-1 ではクラス 1, 2 がそれに該当しますが、旧規格（米国連邦規格: Federal Standard 209E）では表現されておらず、半世紀中での技術進歩が伺えます。

ISO 14644-1 清浄度 クラス(N)	上限濃度 (個/m ³)						Fed-Std-209E
	0.1μm	0.2μm	0.3μm	0.5μm	1μm	5μm	
クラス1	10						
クラス2	100	24	10				
クラス3	1,000	237	102	35			1
クラス4	10,000	2,370	1,020	352	83		10
クラス5	100,000	23,700	10,200	3,520	832		100
クラス6	1,000,000	237,000	102,000	35,200	8,320	293	1,000
クラス7				352,000	83,200	2,930	10,000
クラス8				3,520,000	832,000	29,300	100,000
クラス9				35,200,000	8,320,000	293,000	

クリーンルームの清浄度管理には、パーティクルカウンタが欠かせません。パーティクルカウンタとは空気中や液体中にある塵埃や不純物などを計数する計測器のことです。筆者はパーティクルカウンタのメーカーの勤めですが、クリーンルームやクリーンブースに入り浸ることが多々あります。如何せんクリーンルームの中には日光が入りませんから、ふと散策、外出した際には空模様を観察します。

皆様は、遙か遠くの雲の隙間から差し込まれた光のスジを見たことがあるでしょうか？

「天使の梯子 (はしご)」、「ヤコブの梯子」と呼ばれることがありますが、これは大気中の塵埃や水滴に光が散乱することで生じる「チンダル現象」の一種です。パーティクルカウンタも近い原理で、計測対象にレーザー光を照射することで生じる「光散乱」を利用して、微小な塵埃を計測しています。筆者が 2023 年には一度もお目に掛かれなかった「天使の梯子」ですが、今年こそは是非写真に収めたいものです。皆様もふとした時に空を見上げてはいかがでしょうか。

リオン株式会社 微粒子計測器事業部 開発部 長部航

7. 事務局からのご連絡

1. 臨時社員総会の予告

日時：2024年1月19日（金）

場所：アートホテル日暮里ラングウッド

東京都荒川区東日暮里5-50-5

時間：14時30分より 14時受付開始

2. JADCA 建築物環境衛生セミナー

テーマ：「住宅の空気環境と空調設備メンテナンス」

日時：2月15日（木）14時より

場所：浅草橋ヒューリックホール&カンファレンス

3階 ルーム4

東京都台東区浅草橋1-22-16

今回も会場受講とYOUTUBE配信のハイブリット形式で行います。

詳細についてはメールにてご案内いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

事務局 etcetera (エトセトラ)

休日の過ごし方 ～釣り編～

今回は釣り編です。

小学生の頃、父親とよく釣りに行っていました。

父親はバイク、私はその後ろを自転車で追いかけるように行っていた頃、今でも良い思い出です。

海や川、溪流、湖、池など釣りをする場所は色々ありますが、私は小さい頃から海釣りです。船を出してもらって船からとか、瀬渡ししてもらっての釣りとかではなく、港の波止からばかりです。

釣りをスポーツと捉えたりもして、釣ったのちに離す、いわゆる **catch and release** の楽しみ方ではなく、目的は釣った魚を食べることです。

これは子どもの頃から変わらずです。

決して大きな魚ではないものの、しっかり釣れた日の晩には釣った魚が捌かれて食卓に上がっていました。

「とにかく釣って食べる」と明快な目的なので、父親も私も「何とか頑張って釣って帰るぞ」です。

気長に海を見ながら釣れなくてもって感じではなく、色々工夫しながら、釣れそうな場所を探りながらって感じです。よく釣りをする人は短気な人が合う？など言われたりするの、この様なところからなのかと思います。

大人になって子どもが出来て、家族でやはり海、港へ釣りに行ったりしています。

子どもの頃とは違って、車で動くので、子どもの頃に行っていた所はもちろんの事、近場の色々な波止へ行ったりもします。



目的はもちろん、「食べること」、しっかり受け継いでいます。

※次回は ～焼いも編を予定しています。

written 佐々木良信 (所属会社：(有)日研)

編集後記

明けましておめでとうございます。

新たな年となり、これからの1年を会員企業の皆様と共に充実した日々を過ごせるようにと、新たなチャレンジを進めていく所存であります。

先ずは、1月19日（金）に臨時社員総会が開催されます。多くの会員企業の皆様と顔を合わせ語り合えればと願っております。1月の臨時社員総会、6月の定時総会共に全国の会員企業の皆様にご参集頂ける機会となりますので、是非、悩んでいる会員企業の方がいらっしやいましたら足をお運び頂ければと思っております。

また、2月15日（木）には、会員企業の皆様にご参加して頂きたいJADCAセミナーが開催されます。会場参加並びにWEB視聴のどちらでもご参加が可能となりますので「住宅の空気環境及び住宅のダクト清掃」に少しでも興味があれば仕事先のお客様も含めてご参加いただければと思います。

本年も、有益な情報の発信や更なるチャレンジを進めて参りますので、会員企業の皆様におかれましては、協会に対しご理解とご協力を引き続きお願いできたらと思っております。

2024年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



JADCA 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋一丁目 12-9

新橋プレイス 7階 ビジネスエアポート

TEL : 03-6274 - 6064 FAX : 03-6274 - 6065

E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>